

「リモートでの校内弁論大会」(令和3年9月10日(金))

宮城県・柴田町立船岡中学校 校長

弁論大会を2年ぶりに実施(リモート)

7日(火)、校内弁論大会をリモート形式で行いました。弁士は体育館の壇上で考えを述べ、聞き手は各教室でモニター画面を通して弁論を視聴しました。途中、音声が聞こえないトラブルがありましたが、やり直しをして、無事6名全員の主張を聞くことができました。

自らの身近な体験を基に考えを展開していて、「このままでいいのか。何とか現状を変えたい。でも、うまくいかない」という葛藤場面に、聞く人が引きつけられたと思います。他者の考えに触れ、新しい気づきが生まれることを切に願っています。



生徒会執行部からのメッセージ
「コロナ禍でも夢中になることを見つけよう」



弁論大会。写真左は、登壇するために待機している弁士で、写真右は、準備・運営・進行を務めた図書委員です。

職場体験学習に向けたマナー講座

8日(水)、2年生を対象にして、職場体験学習に向けたマナー講座を行いました。宮城県大河原商業高等学校商業科の2名の先生から、職場体験の意義や、挨拶、態度、言葉遣い、電話応対等について、とてもためになる講話をいただきました。

また、最後はお辞儀の練習を行い、全員がきちんとできたことを講師の先生にほめられました。

講話の一部を以下にまとめました。普段の生活の参考にしてください。



マナー講座でのお辞儀の練習。首、背筋、指や手の動き、頭を上げる速さなどに気をつけていました。

【日常の五心】

- ・「はい」という素直な心
- ・「すみません」という反省の心
- ・「私がお仕事」という奉仕の心
- ・「おかげさま」という謙虚な心
- ・「ありがとう」という感謝の心

【接客7大用語】

- ・「いらっしゃいませ。」
- ・「かしこまりました。」
- ・「恐れ入りますが…」
- ・「少々お待ちくださいませ。」
- ・「大変お待たせいたしました。」
- ・「申し訳ございません。」
- ・「ありがとうございます。」

【仕事をする上で大切なこと】

目配り・気配り・思いやり

- ・相手の立ち場になって、物事を考えること。
- ・相手の気持ちになって、行動すること。
- ・相手の話を目で聴くこと。

◆◆◆◆【読書案内】◆◆◆◆

○ 秋本俊二「空を飛べるのはなぜか」(2018年,188ページ)

町図書館からお借りました。副題は「もっと高く、より遠くへ! 人と生き物たちの“飛ぶ”秘密に迫る」です。副題のとおりの本で、素朴な疑問にわかりやすく答えています。飛行機やヘリコプター、気球、ドローンなどが飛ぶのはなぜか、鳥や昆虫が飛べるのはなぜか、渡り鳥が休まずに飛び続けられるのはなぜか、海中生物のイカはどのようにして空を飛ぶのか、など興味深い話題がたくさんあります。

また、「鳥に憧れ、飛ぶことを夢見た偉人たち」として、レオナルド・ダ・ビンチやライト兄弟などとともに、「日本の飛行機の父」と語り継がれる二宮忠八(1866~1935年)のことが書かれています(p.24~)。二宮は、カラスの群れの観察を通して、羽ばたきしなくても風に向かって角度を取れば上昇することが可能であることに気づき、「固定翼と推進力」で飛行機を飛ばすことに熱中します。そして、完成したのがかの有名な「カラス型飛行器」です。明治24年(1891年)のことです。



秋を感じる掲示物です。(3階階段付近)